

講義名	ドイツ語			授業形態	
担当教員	森田 一平	開講期・曜日・時限	前期 金曜日 3 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生

### 主題と概要

ドイツ語入門/ドイツ語 で学んだドイツ語を復習しながら、様々な新しい場面での表現を学び、体験学習を進める。実際に使える身近な表現を学びながら文法規則を学んでいきます。ペアがグループワークがメインになります。ドイツ語の学習を通してランゲスクンデ（文化や習慣）も学んでいく。なおこの授業は教科書のLektion 3までで、すでにドイツ語入門/ドイツ語 で履修していることが履修の条件となります。

### 到達目標

大学生活や余暇、毎日の日課や活動、友人、知人との約束などについて語り伝えることができる。会合や催しなどについて話し合つて決めることができる。語彙・表現を習得する。過去の事柄について語るることができるようになる。

### 提出課題

授業の履修として、教科書付属のワークシートまたは、教科書の内容を補うワークシートを課題として出す。課題は平常点として評価するので必ず提出すること。

### 課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

提出物は添付ファイルでメールに添付して提出（メールテキスト本文に書かない）。添削して返却するので返却されたものは関連した箇所をチェックしておくこと。

### 評価の基準

平常点（授業中のグループワーク、発言など） 10%  
 提出物 5%  
 筆記試験（中間試験 - 40%、期末試験 - 65%） 75%  
 口述試験 10%  
 試験では基本的に表現・語彙、文法規則などについて授業中に学んだことの成果を問う。

### 履修にあたっての注意・助言他

教科書は必ず購入すること。5月以降教科書を持たずに受講する場合は「欠席」として処理する。間違つて違う本を買わないように（書名とISBNを良く確認）。

### 教科書

、ペーシック版 自己表現のためのドイツ語<ノイ>.	板山真由美 堀路ウルズラ 本河裕子 吉満たか子	三修社	2800	9784384123104
---------------------------	-------------------------	-----	------	---------------

### 参考図書


### その他

独和辞典は必ず持つておくように。例えば アクセス独和辞典 三修社

### 授業計画

- Lektion 4 買い物をする、行く先の表現、時刻の表現、文法学習 方向を表す前置詞の用法  
 予習:Lektion1からLektion3までの内容を復習、文字の名前を言うことができるが、振り仮名と発音を覚えていて発音することができるが確認（2時間）/復習:行く先をいうための前置詞の用法と、いろいろな用語をいうことができるよう確認（2時間）
- Lektion 4 時刻の表現、どこへ行くか、そこで何をするかを表現する、文法学習時刻、一日の時間帯を表す表現とそれを表現するための前置詞  
 予習:教科書にこれまで出てきた動詞の人称変化と意味、用法を確認する（2時間）/復習:時刻や一日の時間帯を表す前置詞の用法を確認（2時間）
- Lektion 5 義務、禁止、許可などの表現、文法学習 所有代名詞(所有冠詞)  
 予習:教科書にこれまで出てきた動詞を使って自分の生活を述べる（2時間）/復習:助動詞の入った疑問文とその答えを考える（2時間）
- Lektion 5 話法の助動詞(まとめ) 変化と意味  
 予習:教科書にこれまで出てきた名詞に所有代名詞をつける（2時間）/復習:助動詞の意味、変化、語順を確認する（2時間）
- 中間試験+Lektion 6 1週間の予定、日課を語る  
 予習:第1回から4回までの講義内容の確認(2時間)/復習:中間試験の内容を確認（2時間）
- Lektion 6 1週間の予定、日課を語る  
 予習:助動詞の意味、変化を確認する、日常生活を語るために必要な動詞を教科書から集める（2時間）/復習:週末や休暇の計画、予定を考えてドイツ語で表現してみる（2時間）
- Lektion 6 物や事柄について感想を言う、評価する  
 予習:Lektion 5, Lektion 6の文を声に出して発音する、辞書をひいて意味を確認する、助動詞の変化を復習し意味を確認する、人称代名詞を確認する（2時間）/試験に出てきた問題でできなかった文法事項、語彙・表現を確認する（2時間）
- Lektion 7 待ち合わせ、一緒に何かをする 前置詞(場所の表現「〜で」)  
 予習:教科書51ページの曜日の名称を復習、57ページの表現を読んで確認する（2時間）/復習:59ページを読んで前置詞を確認する（2時間）
- Lektion 7 一緒に何か計画する 名詞 複数形  
 予習:教科書59ページ Übung 3の名詞を適切な前置詞をつけて覚える、59ページ Übung 4の音源を聴いて声に出して復唱する（2時間）/復習:60ページ Übung 5の食べ物の名前を覚える、63ページ を復習、答えを声に出して言う、教科書63ページ 3を復習、（2時間）
- Lektion 8 過去にあったこと、したことを語る 文法学習 現在完了  
 予習:教科書63ページ 2を復習、答えを声に出して言う60ページの問題を解く、答えの単語を声に出して発音する（2時間）/復習:67ページのÜbung 2で動詞の過去分詞を確認（2時間）
- Lektion 8 過去にあったこと、したことを語る 文法学習 現在完了(続き)  
 予習:動詞habenとseinの変化を復習する、これまでに出てきた動詞の意味を確認し過去分詞を作る（2時間）/復習:67ページ Übung 3の音源を聴いて選択肢の文をすべて声に出して言う（2時間）
- 期末試験+口述試験  
 予習:Lektion 7, Lektion 8の文を声に出して発音する、辞書をひいて意味を確認する（2時間）/復習:動詞habenとseinの変化を復習する、これまでに出てきた動詞の意味を確認し過去分詞を作る（2時間）

### 授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

### 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

ドイツは経済的、政治的にEU・ヨーロッパの最も重要な国の一つです。ドイツ語学習を通じて、ヨーロッパ社会への理解を深め、国際的な視点を持つことに繋がります。他者との会話を通して実社会で必要なコミュニケーション能力、対人能力を培う良い機会とします。これらの能力は商学部生に求められる言葉界の動向や問題点を理解するための基礎知識・経済学部生に求められる経済にまつわる情報分析の力・人間社会学部生に求められるコミュニケーション能力の修得に役立ちます。

### 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

ペアワーク、グループワークを用い、発音、語彙、表現、文法などを教師がチェックします。

### 実務経験の有無及び活用

実務経験あり  
 オーストリア政府公認ドイツ語検定試験OSDの試験官に20年以上従事  
 実用に即したドイツ語の運用能力を読解、聴解、作文、発話の4技能において養成

### 備考

毎回出席が前提ですが、単位取得には2/3以上の出席が必要です。欠席1/3未満であっても連続して欠席しないように。発音にしろ表現や語彙、文法に日々の積み重ねが重要です。